

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成28年9月8日(2016.9.8)

【公開番号】特開2014-37826(P2014-37826A)

【公開日】平成26年2月27日(2014.2.27)

【年通号数】公開・登録公報2014-011

【出願番号】特願2013-160934(P2013-160934)

【国際特許分類】

F 04 D	33/00	(2006.01)
H 05 K	7/20	(2006.01)
B 06 B	1/06	(2006.01)
H 04 R	17/00	(2006.01)
H 04 R	3/00	(2006.01)
F 04 B	45/04	(2006.01)
F 04 B	45/047	(2006.01)

【F I】

F 04 D	33/00	
H 05 K	7/20	H
B 06 B	1/06	Z
H 04 R	17/00	
H 04 R	3/00	3 2 0
F 04 B	45/04	F
F 04 B	45/04	1 0 3 C

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月20日(2016.7.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

そこに形成された空腔および穴を有する、本体と、

裏面の変位を選択的にもたらすために前記本体の前記裏面に結合された、アクチュエータ要素と、

前記アクチュエータ要素及び、少なくとも2つの周波数入力に電気的に結合された制御ユニットであって、冷却周波数構成要素および前記冷却周波数構成要素に重ね合わされた音響周波数構成要素を含む多周波数駆動信号を前記アクチュエータ要素に送信するように構成された、制御ユニットと

を備える、シンセティックジェットを備える、

シンセティックジェットアセンブリ。

【請求項2】

前記冷却周波数構成要素が、人間の耳によって検知不可能な周波数を備える、請求項1記載のシンセティックジェットアセンブリ。

【請求項3】

前記冷却周波数構成要素が、約400Hz未満又は、約20000Hzを上回る、請求項1記載のシンセティックジェットアセンブリ。

【請求項4】

前記音響周波数構成要素が、約 500 ~ 20000 Hz の範囲内の少なくとも 1 つの周波数を備える、請求項 1 または 2 に記載のシンセティックジェットアセンブリ。

【請求項 5】

前記音響周波数構成要素が、可聴警報又は、口頭メッセージを生成する、請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載のシンセティックジェットアセンブリ。

【請求項 6】

前記音響周波数構成要素が、知られている周囲雑音状態の周波数の位相とは約 180 度離れている、請求項 1 乃至 5 のいずれかに記載のシンセティックジェットアセンブリ。

【請求項 7】

前記制御ユニットが、

周囲雑音状態を示すマイクロフォンからの出力を受信する、

前記周囲雑音状態を除去するように構成された周波数および位相を有する雑音除去周波数を判定するために、デジタル信号処理 (DSP) アルゴリズムを適用する、および、

前記雑音除去周波数で前記多周波数駆動信号の前記音響周波数構成要素を送信する

ようにさらに構成された、請求項 1 乃至 6 のいずれかに記載のシンセティックジェットアセンブリ。

【請求項 8】

前記シンセティックジェットの前記本体が、少なくとも 1 つの柔軟なプレートを備え、

前記アクチュエータ要素が、少なくとも 1 つの柔軟なプレートに結合された、

請求項 1 乃至 7 のいずれかに記載のシンセティックジェットアセンブリ。

【請求項 9】

容積を取り囲むシンセティックジェット本体を提供するステップと、

前記シンセティックジェット本体に開口部を形成して前記容積の外側の気体に前記容積を流体的に結合させるステップと、

前記シンセティックジェット本体の柔軟な表面にアクチュエータ要素を結合させるステップと、前記アクチュエータ要素にコントローラを電子的に結合させるステップとを含み、コントローラが、

第 1 の駆動信号を受け取り、

第 2 の駆動信号を受け取り、

前記第 1 のおよび第 2 の駆動信号を結合させて、不可聴周波数構成要素と可聴周波数構成要素とを含む結合された駆動信号を形成し、

前記結合された駆動信号を前記アクチュエータ要素に送信する

ようにプログラムされる、シンセティックジェットアセンブリを製作する方法。